



# 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月7日

上場会社名 日本管財ホールディングス株式会社  
コード番号 9347 URL <https://www.nkanzaihd.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 慎太郎

問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員財務統括部長

(氏名) 岡元 重樹

TEL 03-5299-0863

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	57,003		3,997		4,482		3,045	
2023年3月期第2四半期								

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,822百万円 ( %) 2023年3月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	81.47	
2023年3月期第2四半期		

(注) 当社は、2023年4月3日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	89,540	68,181	74.9
2023年3月期			

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 67,088百万円 2023年3月期 百万円

(注) 当社は、2023年4月3日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期					
2024年3月期		27.00			
2024年3月期(予想)				27.00	54.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2 当社は、2023年4月3日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,600		8,600		9,100		6,000		160.50

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2 当社は、2023年4月3日に単独株式移転により設立されたため、対前期及び対前年同四半期増減率はあります。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 新規1社(社名)Hawaiiana Holdings Incorporated
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	41,180,306 株	2023年3月期	株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,797,286 株	2023年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	37,383,074 株	2023年3月期2Q	株

(注) 当社は、2023年4月3日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(前期実績及び前年同四半期実績について)

当社は、2023年4月3日に日本管財株式会社の単独株式移転により設立され、当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2023年11月24日(金)に機関投資家・アナリストの皆様向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、説明会開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2023年4月3日に日本管財株式会社の単独株式移転により設立されました。連結の範囲につきましては、それまでの日本管財株式会社の連結の範囲と実質的な変更はありません。

また、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった日本管財株式会社の四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の撤廃や感染防止法上の分類が5類へ移行したことに伴い、正常化の動きが見られましたが、ウクライナ情勢の長期化による原材料価格の高騰や為替変動リスクの影響により、引き続き経済活動の停滞が懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

不動産関連サービス業界におきましても、テレワークやサテライトオフィスなど様々な勤務形態が定着し始めたことにより、都市部のオフィスや商業ビルの空室率は、依然として高止まりしており、また原材料価格の高騰や人件費の上昇による取引先企業のコスト削減意識の高まりもあり、今後も厳しい経営環境が継続すると予想されます。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、顧客ニーズに応えた良質なサービスを継続的に提供するため、先進的な技術と対応力で「最適な建物管理」を追求し続け、建物の資産価値の向上に努めております。

また、主力のビル管理業務の一層の強化・向上を図るとともに、PFI事業や公共施設マネジメント事業などの周辺分野にも積極的な展開を図っております。

当第2四半期連結累計期間につきましては、新規管理案件の受託や契約更改が順調に推移したことにより、売上高は570億3百万円、営業利益は39億97百万円、経常利益は44億82百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億45百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### (建物管理運営事業)

主たる業務であるビル管理業務及び保安警備の建物管理運営事業につきましては、新規管理案件の受託や契約更改が順調に推移したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は374億94百万円、セグメント利益は33億33百万円となりました。

#### (住宅管理運営事業)

マンション及び公営住宅の管理を主体とする住宅管理運営事業につきましては、既存管理案件の契約更改が堅調であったことに加え、工事関連業務の受注も好調であったことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は95億71百万円、セグメント利益は7億38百万円となりました。

#### (環境施設管理事業)

上下水道処理施設等の生活環境全般にかかる公共施設管理を主体とする環境施設管理事業につきましては、既存管理案件の契約更改が堅調であったことに加え、工事関連業務の受注も好調であったことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は69億64百万円、セグメント利益は10億16百万円となりました。

#### (不動産ファンドマネジメント事業)

不動産ファンドの組成・資産運用を行うアセットマネジメント及び匿名組合への出資を主体とする不動産ファンドマネジメント事業につきましては、施設管理運営業務が順調に推移したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は16億82百万円、セグメント利益は3億22百万円となりました。

#### (その他の事業)

イベントの企画・運営、デザイン制作、給与計算業務を主体としたその他の事業は、イベント関連業務の受託が順調に推移したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は14億49百万円、セグメント利益は3億31百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (財政状態の分析)

当第2四半期連結会計期間末の資産は895億40百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金297億21百万円など流動資産が509億41百万円、投資有価証券202億57百万円など固定資産が385億99百万円であります。

負債は213億59百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金51億83百万円など流動負債が155億64百万円、長期預り保証金21億6百万円など固定負債が57億94百万円であります。

純資産は681億81百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金607億56百万円など株主資本が647億67百万円、その他有価証券評価差額金27億11百万円などその他の包括利益累計額が23億20百万円、非支配株主持分が10億92百万円であります。自己資本比率は74.9%となりました。

### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は293億76百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

#### [営業活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果増加した資金は14億93百万円となりました。

その主なものは、税金等調整前四半期純利益(45億72百万円資金増)、法人税等の支払額(24億77百万円資金減)等であります。

#### [投資活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果減少した資金は27億89百万円となりました。

その主なものは、投資有価証券の取得による支出(11億70百万円資金減)、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出(5億17百万円資金減)等であります。

#### [財務活動によるキャッシュ・フロー]

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果減少した資金は13億92百万円となりました。

その主なものは、配当金の支払額(11億8百万円資金減)等であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く環境は、引き続き予断を許さない状況で推移することが予想されます。

業績予想に関しましては、概ね2023年5月9日に公表いたしました業績予想のとおりに推移しており、通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間  
(2023年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	29,721
受取手形、売掛金及び契約資産	15,500
事業目的匿名組合出資金	59
販売用不動産	2,115
貯蔵品	304
未収還付法人税等	267
その他	2,979
貸倒引当金	△6
流動資産合計	50,941
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	3,912
機械装置及び運搬具（純額）	33
工具、器具及び備品（純額）	667
土地	1,211
リース資産（純額）	852
建設仮勘定	23
有形固定資産合計	6,700
無形固定資産	
ソフトウェア	363
リース資産	6
のれん	3,436
電話加入権	48
ソフトウェア仮勘定	157
無形固定資産合計	4,011
投資その他の資産	
投資有価証券	20,257
長期貸付金	860
繰延税金資産	471
長期前払費用	16
退職給付に係る資産	841
敷金及び保証金	3,377
会員権	333
その他	1,799
貸倒引当金	△71
投資その他の資産合計	27,887
固定資産合計	38,599
資産合計	89,540

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間  
(2023年9月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	5,183
1年内返済予定の長期借入金	187
1年内返済予定の長期ノンリコースローン	456
リース債務	205
未払費用	3,199
未払法人税等	931
未払消費税等	1,048
契約負債	1,783
預り金	1,274
賞与引当金	844
その他	449
流動負債合計	15,564
固定負債	
長期ノンリコースローン	509
リース債務	691
繰延税金負債	1,242
役員退職慰労引当金	1
退職給付に係る負債	190
長期預り保証金	2,106
資産除去債務	449
持分法適用に伴う負債	1
その他	600
固定負債合計	5,794
負債合計	21,359
純資産の部	
株主資本	
資本金	3,000
資本剰余金	11,339
利益剰余金	60,756
自己株式	△10,328
株主資本合計	64,767
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	2,711
為替換算調整勘定	△167
退職給付に係る調整累計額	△223
その他の包括利益累計額合計	2,320
非支配株主持分	1,092
純資産合計	68,181
負債純資産合計	89,540

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2023年4月1日  
至 2023年9月30日)

売上高	57,003
売上原価	44,340
売上総利益	12,663
販売費及び一般管理費	
販売費	406
人件費	4,677
賞与引当金繰入額	402
役員退職慰労引当金繰入額	1
退職給付費用	154
旅費交通費及び通信費	574
消耗品費	263
賃借料	655
保険料	169
減価償却費	253
租税公課	101
事業税	187
貸倒引当金繰入額	16
のれん償却額	103
その他	696
販売費及び一般管理費合計	8,665
営業利益	3,997
営業外収益	
受取利息及び配当金	137
受取賃貸料	23
持分法による投資利益	6
為替差益	381
その他	49
営業外収益合計	599
営業外費用	
支払利息	18
賃貸費用	28
固定資産除売却損	21
会員権評価損	23
その他	22
営業外費用合計	114
経常利益	4,482
特別利益	
段階取得に係る差益	89
特別利益合計	89
税金等調整前四半期純利益	4,572
法人税、住民税及び事業税	1,397
法人税等調整額	79
法人税等合計	1,476
四半期純利益	3,095
非支配株主に帰属する四半期純利益	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,045



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

	(単位：百万円)
	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,095
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	689
為替換算調整勘定	△108
退職給付に係る調整額	41
持分法適用会社に対する持分相当額	104
その他の包括利益合計	726
四半期包括利益	3,822
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,756
非支配株主に係る四半期包括利益	65

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	4,572
減価償却費	381
のれん償却額	103
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1
退職給付に係る資産負債の増減額	△61
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	16
受取利息及び受取配当金	△137
支払利息	18
為替差損益 (△は益)	△366
持分法による投資損益 (△は益)	△6
段階取得に係る差損益 (△は益)	△89
固定資産除売却損益 (△は益)	21
会員権評価損	23
売上債権の増減額 (△は増加)	804
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△72
その他の資産の増減額 (△は増加)	△780
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,994
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△204
その他の負債の増減額 (△は減少)	1,582
その他	△14
小計	3,830
利息及び配当金の受取額	158
利息の支払額	△18
法人税等の支払額	△2,477
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,493</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△30
定期預金の払戻による収入	30
有形及び無形固定資産の取得による支出	△223
有形及び無形固定資産の売却による収入	0
投資有価証券の取得による支出	△1,170
投資有価証券の売却による収入	435
投資有価証券の償還による収入	100
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△517
貸付金の回収による収入	16
敷金及び保証金の差入による支出	△427
敷金及び保証金の回収による収入	582
預り保証金の受入による収入	11
預り保証金の返還による支出	△161
その他	△1,433
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,789</b>

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2023年4月1日  
至 2023年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	3,750
短期借入金の返済による支出	△3,750
長期借入金の返済による支出	△187
長期ノンリコースローンの返済による支出	△3
リース債務の返済による支出	△91
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△1,009
非支配株主への配当金の支払額	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,665
現金及び現金同等物の期首残高	32,041
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,376

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 2
	建物管理 運営事業 (百万円)	住宅管理 運営事業 (百万円)	環境施設 管理事業 (百万円)	不動産ファン ドマネジメン ト事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	37,494	9,571	6,964	1,682	1,290	57,003	—	57,003
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	158	158	△158	—
計	37,494	9,571	6,964	1,682	1,449	57,161	△158	57,003
セグメント利益	3,333	738	1,016	322	331	5,743	△1,745	3,997

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,745百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。